

原料費調整制度に基づく2023年1月検針分のガス料金について (群馬南地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2023年1月検針分の単位料金を調整した結果、2022年12月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき4.46円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年8月～2022年10月の平均原料価格が64,400円/t (2023年1月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を64,400円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に34m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年12月検針分と比較して、152円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2023年1月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m ³)	154.11	146.74	139.37
(参考) 12月 調整単位料金	149.65	142.28	134.91

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2022年12月	2023年1月	増減
適用料金(円/月)	5,761	5,913	152

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2022年7月～2022年9月 の平均 (12月検針分)	2022年8月～2022年10月 の平均 (1月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	66,810	71,080	4,270
LNG	142,800	152,790	9,990
LPG	101,820	98,160	▲ 3,660
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	39,400	43,700	4,300

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{152,790} \times 0.4414 \\
 & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \boxed{98,160} \times 0.0371 \\
 & &= & \boxed{71,083.24} \\
 & & & \downarrow (100円未満四捨五入) \\
 & &= & \boxed{71,080} \text{円/t (調整上限64,400円/t)}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 & \boxed{64,400} \text{円/t (調整上限)} - \boxed{27,350} \text{円/t} &= & \boxed{37,050} \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & &= & \boxed{37,000} \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{単位料金調整額} &= \boxed{37,000} \text{円} / 100 \times 0.0858^{*1} \\
 &= \boxed{31.74} \text{円}^{*2}
 \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は小数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2022年12月	2023年1月	増減
適用料金(円/月)	5,761	5,913	152

・標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned}
 \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(924.00円)} \\
 &+ \text{調整単位料金}(\boxed{115.00} \text{円} + \boxed{31.74} \text{円}) \times 34\text{m}^3 \\
 &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \quad \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が64,400円（2023年1月分に適用される調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は64,400円としてガス料金の調整を行います。